

## 2022年度 大連日本人学校理事会の活動方針について

大連日本人学校理事会  
理事長 亀山 直明

### 1. 大連日本人学校理事会設立の経緯

大連日本人学校は、平成6年（1994年）4月、大連日本商工会の前身である大連日本商工クラブが中心となって設立された。以来、大連日本人学校理事会は日本人学校の運営に関する意思決定機関として活動している。

### 2. 理事会の役割

理事会の役割は、大連日本人学校規則及び大連日本人学校理事会規則において、学校の運営を行うこと、と定められている。

各規則には、理事会が、校長・事務長から報告を受けたり、承認を行ったりする事項、また、理事会で審議決定する事項、等が定められている。以下は、その抜粋である。

<理事会の審議決定事項>

- ① 学校の管理運営の基本方針に関わる事項。
- ② 学校の予算・決算に関する事項。
- ③ 重要な資産の取得、管理および処分に関する事項。
- ④ 採用教職員の任免に関する事項。 等

<理事会が校長・事務長から報告・承認等を受ける事項>

- ① 非常事態による臨時休校。
- ② 各学年における教育課程の編成、計画、実施等の状況。
- ③ 修学旅行、宿泊学習、遠足、対外試合、国際交流等の学校行事。
- ④ 校務分掌組織及びその分掌。 等

### 3. 理事会の活動方針

- (1) 『生徒ファースト』の大方針の下、学校教育目標である『力あふれる 心豊かな世界に生きる 子どもの育成』の実現を目指し、『子ども達が“安心して、楽しく、充実した”学校生活を送り、大連に来てよかった、と思えるような、より良い環境作り』を推進する。
- (2) これまでの経験を十分に活かしながらも、前例に捉われ過ぎることなく、「公正・公平性、常識・バランス感覚」をキーワードに、明るく開かれた自由闊達な議論を通じて、学校運営における意思決定を行う。

### 4. 今年度の大連日本人学校理事会の活動方針について（重点課題）

- (1) 学校運営の永続性を前提とした、「中長期的視野」での学校運営の推進。  
(特に「コストマネジメント」を主眼とした収支バランスの維持・改善)
- (2) 企業経営ノウハウも活用しながら、「公正・公平性」を担保し、判断の個人負担軽減にも配慮した規定類の整備とその遵守。
- (3) 学校関係者による理事会への「適時・適切な報告・相談プロセス」の確立と実行。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大による影響の最小化（来連対応、生徒数減等）。
- (5) 政府機関との良好な関係の構築。

以上